

“江東区に住み続けたい”



高い定住意向90.2%

江東区政世論調査の結果まとまる

区では、区民の皆さんの意向を区政に反映するため、1年おきに「江東区政世論調査」を実施しています。このたび調査結果がまとまりましたので、11項目の調査の中から特に区民の皆さんの関心が高かった項目について、結果をお知らせします。調査を通じて得られたご意見・ご要望を踏まえ、皆さんの期待にこたえるため、今後も積極的に区政運営、施策立案を推進していきます。

▲区民の皆さんが安全、安心そして快適に生活できるまちづくりを推進していきます(豊洲公園で)

定住意向

90.2%が住み続けたい

江東区に「ずっと住みたい(住むつもり)」、「当分は住みたい」と答えた方の割合は90.2%で、高い数値を維持しています。特に、「ずっと住みたい(住むつもり)」は、前回調査(57.1%)を上回る57.5%の方が選択しています。

一方、「あまり住みたくない(転出した)」と「すぐ転出するつもり」を合わせた「転出意向」は2.8%でした。

「定住意向」の理由の上位は、「日常生活に便利」40.0%、「住みなれているから」40.0%、「自分の家(土地)だから」39.4%、「通勤・通学に便利」25.8%でした。

また「転出意向」の主な理由は「生活環境が悪い」「災害に対し危険」でした。

【定住意向理由】

(2つ以内で回答)(回答数:957)

日常生活に便利	40.0
住みなれているから	40.0
自分の家(土地)だから	39.4
通勤・通学に便利	25.8
生活環境がよい	19.9

定住意向の推移

(%)

南北交通

有楽町線(豊洲～住吉間)の延伸事業「実現するべき」が8割近く

有楽町線(豊洲～住吉間)の延伸事業の考え方については、「できるだけ早く実現するべき」48.9%、「いずれは実現するべき」29.7%を合わせた「実現するべき」が78.6%と8割近くになっています。

【有楽町線(豊洲～住吉間)の延伸事業】

(回答数:1,061)

実現するべき 78.6%		検討を中止するべき	
できるだけ早く実現するべき	いずれは実現するべき	慎重に検討を進めるべき	無回答
48.9%	29.7%	17.2%	3.3%
		0.8%	

防災対策

防災対策への要望「非常用食料・水などの確保」が4割台半ばでトップ

大地震の際の防災対策への要望は「非常用食料・水などの応急物資の確保」45.6%、「トイレの確保など衛生対策の促進」22.1%が上位2項目となりました。

【防災対策への要望】

(2つ以内で回答)(回答数:1,061)

非常用食料・水などの応急物資の確保	45.6
トイレの確保など衛生対策の促進	22.1
情報の収集・伝達体制および情報提供手段の充実	20.4
高齢者・障害者・乳幼児など災害時要援護者対策の充実	19.1
避難所への備蓄倉庫の配備	15.7
避難場所の整備およびPRの充実	15.6
液状化についての対策とPRの充実	10.1
護岸補強などの水防対策の促進・充実	9.2
住居の耐震診断	8.3
建物の不燃化の促進と助成	5.2
防災区民組織の充実と援助	5.0
地域での防災訓練および総合防災訓練の充実	3.6
街頭消火器の地域配備の充実	1.4
家具などの転倒防止対策の推進	1.1



江東区政世論調査とは

江東区政世論調査は、区民の皆さんのご意見やご要望を区政に反映する一つの方法として、昭和48年から1年おきに実施しており、今回で22回目となりました。

調査は、江東区住民基本台帳より、地区ごとに、無作為に抽出した「満20歳以上の男女1,500人(外国人を含む)」を対象に、平成27年6/20～7/5に個別面接聴取法で実施しました。有効回収数は1,061票、回収率は70.7%でした。

結果の詳細は区役所・図書館・区ホームページで閲覧できます

第22回江東区政世論調査の詳細は、こうとう情報ステーション(区役所2階)、各図書館にある調査報告書または区ホームページをご覧ください。

☎ 広報広聴課広聴相談係 ☎3647-2364